

小学生の放課後をもっと楽しく！全国の学童保育等運営を支援する



第1回「スマセイアフタースクールプログラム」開催団体公募開始！

住友生命保険相互会社（代表取締役社長 橋本 雅博）は、小学生の放課後の生活の場・居場所である全国の学童保育や放課後子ども教室等（以下、学童保育等）をより楽しく、より子どもたちが成長できる場所とすることを目的とし「スマセイアフタースクールプロジェクト」を始動いたします。

学童保育等にソフト面でのサポートを行うことで、子どもたちへ多様な体験とかけがえのない時間を提供するとともに、子育て世代が安心して働くことのできる環境整備を目指します。

本日より、第1回「スマセイアフタースクールプログラム」（「いのち」「健康」「未来」をテーマにした出張授業）の開催団体の公募を開始します。またプロジェクト専用サイト（出張授業の様子やプログラム公募告知他、遊んで学べるペーパークラフト類の提供等）の運営を開始します。実施にあたっては、特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクールへの助成により行います。

主なポイント

1. スマセイアフタースクールプログラムの公募開始

- ・「いのち」「健康」「未来」をテーマにした楽しく学べる出張授業の開催を希望する団体を募集。
また、「子どもたちがしたいこと」をかなえるため、スペシャルプログラムとして、「夢をかなえるプログラム」も同時公募。
- ・募集期間：平成26年4月14日～5月末日 募集数：10団体 * 第2回は平成26年度下期公募予定。

2. 「放課後をもっと楽しく！BOOK」の作成・配布

- ・学童保育等運営のコツ等を掲載した現場で活用いただける指導者の方のための冊子「放課後をもっと楽しく！BOOK」を新規作成。
- ・スマセイアフタースクールプログラムに応募いただいた全団体に進呈。

3. 専用サイト運営開始

- ・スマセイアフタースクールプロジェクト専用サイト(<http://sumiseiafterschool.jp>)運営開始(4月14日)。
- ・出張授業の様子、学童保育等で自由にご利用いただけるすごろくやペーパークラフト類の提供、各地で行われている遊びの紹介など、順次提供する「遊び」を増やしていきます。
- ・放課後を楽しくするためにご協力いただける皆さまからのペーパークラフト類の提供も受付予定。

「スマセイアフタースクールプロジェクト」とは

学童保育等に以下のメニューを無償提供いたします。

- ① スマセイアフタースクールプログラム（「いのち」「健康」「未来」をテーマとした出張授業）
- ② 学童保育等の指導員向け冊子「放課後をもっと楽しく！BOOK」（①に応募いただいた場合）
- ③ 遊んで学べるペーパークラフト類（専用サイト上にて提供）

1. 第1回スミセイアフタースクールプログラム公募について

「いのち」「健康」「未来」をテーマにした楽しく学べる出張授業の開催を希望する団体を募集します。また「子どもたちがしたいこと」をかなえるため、スペシャルプログラムとして、「夢をかなえるプログラム」も同時公募いたします。なお、応募いただいた全団体に、学童保育等運営のコツ等を掲載した現場で活用いただける指導者の方のための冊子「放課後をもっと楽しく！BOOK」をプレゼントいたします。

a. 第1回公募プログラム

いのちのプログラム

「心臓外科医のシゴト」

講師：菊名記念病院心臓外科部長 ^{びとうあつし} 尾頭厚氏
人の生死に毎日のかかわる心臓外科医の先生からいつも感じている「いのち」についてのお話をさせていただきます。
また、実際に手術着や手袋、手術で使用する糸などを用意していただき、手術体験をします。



健康のプログラム

「無形文化遺産“和食”」

講師：とゝや魚新会長 ^{しぶいちまさる} 四分一勝氏
無形文化遺産に登録された和食づくりにチャレンジします。和食の基本、だしの取り方を中心に教えていただきます。また、和食を通じて「和の心」や「おもてなし」についても触れ、心と体の健康について考えます。



未来のプログラム

「スラックライン（綱渡り）の世界チャンピオンに会おう！」

講師：スラックラインライダー ^{ふくだゆきみ} 福田恭巳氏
スラックラインの世界チャンピオンになるまでの努力や考え方を教えていただきます。
また、世界チャンピオンのパフォーマンスや子どもたちの体験ライディングも実施します。



スペシャルプログラム

「夢をかなえるプログラム」

子どもたちの夢をかなえる企画です！かなえたい夢を全力でサポートいたします。なお、選考は事務局で行います。

(例：プロの歌手から歌を習いたい、お花屋さんになってみたい等)

- b. 募集対象：学童保育・放課後子ども教室に限らず、小学生を対象とした放課後活動を行っている団体であればどこでも応募できます。
- c. 募集数：10団体
- d. 募集期間：平成26年4月14日～5月末日 *プログラムは順次実施していきます。
- e. 応募方法：スマセイアフタースクールプログラム応募用紙にご記入の上、メールまたはFAXにて応募ください。電話での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。
- *応募用紙はスマセイアフタースクールプロジェクト専用サイトよりダウンロード可能です(<http://sumiseiafterschool.jp>)。
- 【応募先メールアドレス】info@npoafterschool.org 【応募先 FAX】03-6721-5044
- *お問い合わせ先
スマセイアフタースクールプロジェクト事務局 03-6721-5043 (平日 10:00～17:00)
- f. 選考にあたっての留意事項：
開催団体は事務局にて選出いたします。選考にあたり、電話にて参加者や開催場所、準備物等について詳細をヒアリングする場合があります。また、開催日時を調整させていただきます。
- *今回のプロジェクトの趣旨から、プログラム開催日の午前中などに、「地域を巻き込んだアフタースクールづくり」についての勉強会・ミーティングを開催させていただきます。
- 勉強会・ミーティングに、近隣の学童保育等関係者や地域の協力者など多数の方の参加が見込まれる団体を優先いたします。
- g. 結果通知：開催団体には6月下旬までにお電話にてご連絡させていただきます。その他の団体には郵送にて結果を通知いたします。
- *なお、今回開催団体に選出されなかった場合は「放課後をもっと楽しく！BOOK」をお送りいたします。

2. 放課後をもっと楽しく！BOOKについて

スマセイアフタースクールプログラムに応募頂いた全団体へプレゼントいたします。

指導員の方の運営の一助となるように「小学生の成長過程一覧」や「市民先生によるプログラムの企画運営のコツ」等、運営現場で活用いただけるよう作成した冊子です。

3. プロジェクト専用サイトの運営開始について

スマセイアフタースクールプロジェクト専用サイト (<http://sumiseiafterschool.jp>) の運営を開始いたします (4月14日)。

公募プログラム詳細についてのお知らせの他、プロジェクト紹介動画も掲載いたします (「いのちのプログラム」の模様)。6月以降順次実施するプログラムについても多くの学童保育等関係者の方へ参考としていただくために、掲載していく予定です。

また、学童保育等で自由にご利用いただけるすごろくやペーパークラフト類を提供いたします。

あわせて「日本のあそび」「世界のあそび」コーナーを設け、各地で行われている遊びを紹介し、子どもたちの遊びの世界を広げることをサポートします。

ホームページは随時更新。順次提供する「遊び」を増やしていきます。なお、小学生の放課後を楽しむためにご協力いただける皆さまからのペーパークラフト類の提供も受付予定です (詳細は専用サイトで告知いたします)。

4. 背景・目的

全国に約3万か所の学童保育等^{※1}がありますが、小学校低学年の潜在的な待機児童は40万人以上であると言われております。

保育園の待機児童は大きな社会問題になっていますが、保育園卒園後の小学生の学童保育等もまた不足しており、子どもが小学生になると仕事を諦める保護者の問題は「小1の壁」と呼ばれる新たな課題となっています。それに加えて、運営主体・開設場所の違いや経験年数1年～3年の指導員が大半を占める等の要因により運営内容の格差が社会問題になっているとされています^{※2}。

学童保育は、平成27年4月施行予定の「子ども・子育て関連3法」によって制度的に大きな変化を迎えます。主な変更点は以下のとおりです^{※2}。

- ・学童保育が、市町村の行う「地域子ども・子育て支援事業」(市町村事業)として位置づけられます。
- ・「地域子ども・子育て支援事業計画」の策定が市町村に義務づけられます。
- ・対象児童が「概ね10歳未満」から「小学生」に引き上げられます(義務ではない)。
- ・市町村は、平成26年度に「事業計画」「学童保育の基準」等を決めていきます。

現在、各自治体が、今後の学童保育等の運営について検討をしている段階にあります。この時期を捉えて、学童保育等の質の向上のため、モデルとなるプログラム等を提供する当プロジェクトを開始いたしました。

楽しいプログラムや、遊んで学べるツール等を提供することにより、子どもが本来もっている自ら成長する力「子育て」を応援すること、また子育ての当事者だけでなく地域や市民などの力を借りて社会全体で「子育て」に取り組む環境整備を図ることを大切に考えています。

子育て・子育て支援事業は、お客さまの人生や大切な人を守る生命保険会社を営む当社にとって非常に親和性の高い社会貢献分野であり、これまでも積極的に取り組んできました。今回さらに「子育て」「子育て」をキーワードに支援を拡大します。

学童保育の運営主体^{※2}

運営主体	か所数	割合	2007年比	備考
公立公営	8,400	38.8%	-5.4%	市町村が直営している
社会福祉協議会	2,183	10.1%	-1.2%	半数は行政からの委託(1,146か所)
地域運営委員会	4,029	18.6%	+1.9%	多くが行政からの委託(2,575か所)
父母会・保護者会	1,388	6.4%	-2.6%	行政からの委託が多い(843か所)
法人等	5,307	24.5%	+8.1%	私立保育園(1,101か所)、私立幼稚園(308か所)、保育園を除く社会福祉法人(107か所)、保護者等がつくるNPO法人(1,441か所)、民間企業(409か所)、その他(977か所)
その他	328	1.6%	-0.8%	
合計	21,635	100%		

学童保育の開設場所^{※2}

開設場所	か所数	割合	2007年比	備考
学校施設内	11,434	52.8%	+5.3%	余裕教室活用(5,585) 学校敷地内の独立専用施設(4,863) 校舎内の学童保育専用室(474) その他の学校施設を利用(512)
児童館内	2,718	12.6%	-3.2%	児童館・児童センター内の専用室
学童保育専用施設	1,730	8.0%	+0.6%	学校外にある独立専用施設
その他の公的施設	1,875	8.7%	-2.1%	公民館内(500)公立保育園内(125) 幼稚園内(169)その他の公的な施設内(1,081)
法人等の施設	1,409	6.5%	-0.2%	私立保育園や社会福祉法人の施設内
民家・アパート	1,381	6.4%	-0.9%	父母会等が借りたアパート・借家など
その他	1,088	5.0%	+0.6%	自治会集会所・寺社など
合計	21,635	100.0%		

※1 学童保育2万1635か所(平成25年5月全国学童保育連絡協議会調査)
放課後子ども教室1万376か所(平成25年8月文部科学省発表資料)

※2 平成25年5月全国学童保育連絡協議会調査